

入院のみ 外来のみ ○共通	適応がん種	レジメン名(略語)	臨床使用分類	抗癌剤適応分類	1コース期間
	乳癌	3wHER	日常診療	○術前化学療法	21日間
			臨床試験承認済	○術後補助療法	
			治療承認済・審議中	進行・再発	予定総コース
その他()				4コース	

☆上記のうち該当箇所○を付けてください

処方No	薬品名(商品名)、溶解液の種類と量	1回投与量	投与時間又は用法	投与日(d1,8など)	投与経路
1	生理食塩液	200mL	240分	d1	主管
2	<初回> ハーセプチン	8mg/kg			
	生理食塩液	250mL	90分	d1	側管
	<2回目以降> ハーセプチン	6mg/kg			
	生理食塩液	250mL	30分	d1	側管

留意点および急性期有害事象等	<p><投与基準></p> <ul style="list-style-type: none"> •EF>55%とする。 •HER2 陽性(HER2 3+または2+FISH陽性) <p>WBC>2000/L, Neutro>1,000/ L, Hb>8.0 g/dL, PLT>100,000/ L; T-Bil≤施設基準値上限、ALT and AST≤施設基準値上限の5倍; ALP≤2.5 施設基準値上限の2.5倍; 血清クレアチニン≤2.0mg/dL,PS≤2,非血液毒性≤G2</p> <p><その他注意></p> <p>【HER】</p> <ul style="list-style-type: none"> •初回導入は8mg/kgを90分で投与すること。原則入院で導入とする。2回目以降は6mg/kgで投与する。 •初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。 •Her投与中は心症状の発現状況・重篤度等に応じて適宜心機能検査(心エコー等)を行い左室駆出率の変動を十分に観察する。 •投与予定日より1週間を超えた場合、改めて初回投与量で投与し、2回目以降6mg/kgで投与する。 •ブドウ糖溶液との混合を避け、本剤とブドウ糖溶液の同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。
----------------	---

参考文献	
------	--

夜間, 帰宅時, 対応医師への連絡先	平日の日中は外科外来(3057,3058)
--------------------	-----------------------